

「世界史探究」 シラバス

学科	普通科	学年	2年	類型		組	1・2組	単位数	3
使用教科書	詳説世界史 (山川出版社)								
副教材等	最新世界史図説タペストリー (帝国書院) 詳説世界史改訂版 10 分間テスト (山川出版社)								

1 学習の到達目標

<p>① 世界の歴史について、地理的な条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を調べまとめる技能を身に付ける。</p> <p>② 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、多面的に・多角的に考察し、それを説明したり、議論したりする力を養う。</p> <p>③ よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養う。</p>
--

2 学習評価

次の三つの観点に基づき、各学期ともに定期考査までの学習内容のまとめりごとに、下記の評価項目により、観点別評価と 100 点法の評価をする。学年末において、観点別評価を 5 段階の評定に総括する。

知識・技能	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けているか。	(1)(2)(3)(4)(5)(6)
思考・判断・表現	歴史的諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、諸地域の歴史的特質を読み解く観点で考察し、表現できているか。	(1)(2)(3)(4)(5)(6)
主体的に学習に取り組む態度	よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとしているか。	(3)(4)(5)(6)(7)(8)
評価方法	主な評価項目	
ペーパーテスト	(1)定期考査 (2)小テスト	
課題などの提出状況	(3)週末や長期休業中に指示する課題 (4)振り返りシート	
発表	(5)適切な課題設定、まとめる方法、発表内容、発表態度	
課題レポート	(6)よりよい社会の実現を視野に入れた課題設定、内容	
学習状況の観察	(7)ノート (8)教師の質問に対する応答	

3 学習の計画

学期	学習内容	学習のねらい	評価項目
一 学 期	第1章 文明の成立と古代文明の特質 1 文明の誕生 2 古代オリエント文明 3 南アジアの古代文明 4 中国の古代文明 5 南北アメリカ文明	・王権と身分・階級、生活と生業、宗教、文化・思想などに関する諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動を通して、諸地域の歴史的特質を読み解く観点について考察し、問いを表現する。	(5)
	第2章 中央ユーラシアと東アジア世界 1 中央ユーラシア 2 秦・漢帝国 3 中国の動乱と変容 4 東アジア文化圏の形成	・騎馬遊牧民が強大な国家を築くことができた理由について多面的・多角的に考察する。 ・新たに登場した「皇帝」の特質についてそれまでの「王」と比較しながら理解し、中国の王朝と周辺諸地域の関係の変化について、多面的・多角的に考察し、説明する。	(5)
	第3章 南アジア世界と東南アジア世界の展開 1 仏教の成立と南アジア世界の統一国家 2 インド古典文化とヒンドゥー教の定着 3 東南アジア世界の形成と展開	・新しい宗教の成立とインド諸王朝との関わり、宗教の伝播とその影響を中心に、問いを表現し、歴史的特質を読み解く。	(6)
二 学 期	第4章 西アジア世界と地中海周辺の国家形成 1 イラン諸国家の興亡とイラン文明 2 ギリシア人の都市国家 3 ローマと地中海世界 4 キリスト教の成立と発展	・西アジア（イラン）と地中海周辺の諸国家（ギリシア・ローマ）について、国家形成の歴史的特色を理解する。 ・ヘレニズム時代の歴史的意義を多面的・多角的に考察し表現する。 ・キリスト教の成立の経緯を理解した上で、ローマ帝国によるキリスト教への対応を多面的・多角的に考察し表現する。	(5)
	第5章 イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成 1 アラブの大征服とイスラーム政権の成立 2 ヨーロッパ世界の形成	・アラブ＝ムスリム軍による大征服の展開や、ウマイヤ朝・アッバース朝成立の背景とその統治の特徴を理解する。 ・イスラーム文化の成立の経緯を理解し、またその特徴を多面的・多角的に考察し表現する。 ・ヨーロッパ世界の形成について、歴史的経緯を理解する。	(5)
	第6章 イスラーム教の伝播と西アジアの動向 1 イスラーム教の諸地域への伝播 2 西アジアの動向	・イスラーム政権の多極化が社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ・イスラーム拡大の要因について、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解く。	(5)
	第7章 ヨーロッパ世界の変容と展開 1 西ヨーロッパ世界の封建社会とその展開 2 東ヨーロッパ世界の展開 3 西ヨーロッパ世界の変容 4 西ヨーロッパの中世文化	・中世の西ヨーロッパにおいてローマ＝カトリック教会が普遍的な権威を持つにいたった背景を理解する。 ・ビザンツ帝国の衰退の要因を多面的・多角的に考察し表現する。 ・封建社会が解体に向かった背景を多面的・多角的に考察し表現する。 ・中世の西ヨーロッパの美術や文学と、その時代の社会との関係を多面的・多角的に考察し表現する。	(6)
三 学 期	第8章 東アジア世界の展開とモンゴル帝国 1 アジア諸地域の自立化と宋 2 モンゴルの大帝国	・宋の社会とモンゴル帝国の拡大など基に、海域と内陸にわたる諸地域交流の広がりを構造的に理解する。	(5)
	第9章 大交易・大交流の時代 1 アジア交易世界の興隆 2 ヨーロッパの海洋進出とアメリカ大陸の変容	・諸地域の交易とヨーロッパの進出に関わる主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、アジア海域での交易の特徴、ユーラシアとアメリカ大陸間の交易の特徴とアメリカ大陸の変容などを多面的・多角的に考察し、表現する。	(5)
	第10章 アジア諸帝国の繁栄 1 オスマン帝国とサファヴィー朝 2 ムガル帝国の興隆 3 清代の中国と隣接諸地域	・オスマン帝国の基礎および勢力拡大の経緯を理解し、オスマン帝国の統治が当時の人々に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ・サファヴィー朝の支配がイラン社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。	(6)
第11章 近世ヨーロッパの動向 1 ルネサンス 2 宗教改革 3 主権国家体制の成立 4 オランダ・イギリスの台頭 5 北欧・東欧の動向 6 科学革命と啓蒙運動	・ムガル帝国におけるヒンドゥー教徒とイスラーム教徒の関係、ムガル帝国の衰退の背景や要因を多面的・多角的に考察し表現する。 ・宗教改革とヨーロッパ諸国の抗争などを基に、主権国家体制の形成と地球規模の交易の拡大を構造的に理解する。	(5)	

備考 (1)(2)(3)(4)(7)(8)については、全ての単元において評価項目として用いる。